

夏になる
ウロコの
耳から



*DIE GRUNDRECHTE
Menschenwürde, Grundrechtsbildung der staatlichen Gewalt]
Die Würde des Menschen ist unantastbar. Sie zu achten und zu schützen ist Verpflichtung
des Deutschen Volk bekennt sich darum zu unverletzlichen und unveräußerlichen Menschen-
rechte als Grundlage jeder menschlichen Gemeinschaft, des Friedens und der Gerechtigkeit in der Welt.
Artikel 2 [Handlungsfreiheit, Freiheit der Person
(1) Jeder hat das Recht auf die freie Entfaltung seiner Persönlichkeit, soweit er
die Rechte anderer verletzt und nicht gegen die verfassungsmäßige Ordnung oder das
Gesetz verstößt.
Artikel 3 [Gleichheit vor dem Gesetz
(1) Alle Menschen sind vor dem Gesetz gleich.*

Suntory Foundation for Arts'
Summer Festival 2015

サントリー芸術財団

サマーフェスティバル 2015

8/22^土 8/30^日
サントリーホール

ザ・プロデューサー・
シリーズ
長木誠司
がひらく

サントリーホール
国際作曲委嘱
シリーズNo.38
テーマ作曲家
ハインツ・
ホリガー

第25回
芥川作曲賞
選考演奏会

TRANS
MUSIC
特別公演

ザ・プロデューサー・シリーズ 長木誠司がひらく

The Producer Series CHOKI SEIJI ga HIRAKU



20世紀ドイツの2巨頭が声を巡って提示した、底知れぬ絶望と飽くなき希望の対照～散開する複数の声、そして合祀しひとつとなる声

戦後70年のサントリー芸術財団サマーフェスティバルでは、ベルント・アロイス・ツィンマーマンとカールハインツ・シュトックハウゼンというドイツの2大家による“声”のための記念碑的な大作を上演します。ドイツのケルンを拠点に活動していた両者ですが、前衛の王道を歩む戦後派シュトックハウゼンに対し、過去の音楽との対決を常に自らに課してきたツィンマーマンは「旧世代」という評価を受けつつ、1980年代に到るまでその陰の位置に甘んじてきました。しかしながら、1970年代における前衛の停滞はその評価を一変させ、音楽史すべてを重く一身に引き受けながら行われたツィンマーマンの創作は、現代音楽シーンにおいて大きな再評価のときを迎えました。

1970年に自ら命を絶ったツィンマーマンは、最晩年に自らを振り返り、オペラ《兵士たち》をはじめ、大規模な作品をいくつか書きましたが、そのなかでも、西部ドイツ放送で念入りに制作された電子音響と多言語の声のコラージュによる8チャンネルのテープ音楽、聴衆を四方から取り囲む巨大な複合唱、2名の語り手と2名の独唱、フリー・ジャズのコンボ、オルガン、そしてヴァイオリンとヴィオラを省くものの、巨大なオーケストラを必要とする《ある若き詩人のためのレクイエム》は規模と複雑さにおいて最大の作品です。ヴァイトゲンシュタインやジョイスをはじめとする20世紀の言語理論や声の冒険をふんだんにテキストとして盛り込み、ヒトラーやゲッベルス、毛沢東等々の政治的演説や言説、マヤコフスキーのような独裁の犠牲者の悲痛な声、そしてベートーヴェンの第9やビートルズの『ヘイ・ジュード』を引用しながら、希望の歌「我ラニ永遠ノ平安ヲ与エヨ」を叫びつつ、最終的に声の無力を絶望的に提示して人類への巨大な慟哭を描いていくツィンマーマンの大作レクイエム。知情意のすべてを身にし、ヒューマンかつ洞察に富む大野和士が渾身のタクトで日本初演します。

同じ頃、シュトックハウゼンは家族にも恵まれ、愛に満ちたハッピーな時代を過ごしていました。それは人声に含まれる倍音をセリー的に統御しながら、愛の詩を綴っていく《シュティムング》のような実験的な作品に顕著です。ここでは6人の男女がまさに声をひとつにして祭祀的な空間を作っていきます。1970年の大阪万博の際にドイツ館で毎日のように上演され、同年に東京混声合唱団も挑戦していた作品ですが、今回は時間をかけて万全の倍音唱法を体得した日本人歌手を中心にする、45年ぶりの本格的な再演ということになります。

絶望と希望、声を巡るこの対照的な2作品、望みうる最高の布陣による一期一会を、ぜひともお聴きのがしなさいよう！

音楽学者／東京大学教授 長木誠司

拓かれた声／封じられた声——ケルン1968/69

Enlightened Voice / Suppressed Voice: Cologne 1968/69

レクイエム～詩と声と命の果つるところ

Requiem Where Poem, Voice and Life Expire

8/23 日 18:00 [開場17:30]
大ホール
18:00 Sunday, August 23
at Main Hall

トーク 大野和士×長木誠司

B.A.ツィンマーマン (1918-1970) ある若き詩人のためのレクイエム

Bernd Alois Zimmermann: Requiem für einen jungen Dichter, Japanese Premiere (1967-69) 日本初演

上演時間:約65分 (日本語字幕付)
Performance duration: about 65 minutes/with Japanese supertitles

出演者総勢約200名!合唱は客席4箇所に配置され、8チャンネルのスピーカーが会場をぐるりと囲む。聞こえてくる様々な人の声につぐ声。1969年デュッセルドルフ初演、日本では初めての上演です。



1969年12月11日初演の様子 メッセ会場内のホール(ドイツ・デュッセルドルフ)



B. A. ツィンマーマン
©Schott Promotion



大野和士
©Haruki



長谷川初範



塩田泰久



森川栄子



大沼 徹

字幕映像＝原島大輔
Video design: Daisuke Harashima
舞台監督＝井清俊博
Stage Manager: Toshihiro Isei

○入場料 [指定席]
S席 6,000円/A席 4,500円
B席 3,000円/学生席 1,000円

コンサートをもっと楽しむための
プライベート
開催予定!
詳細はホームページで
お知らせします。

シュティムング～内観する声ひとつ

Stimmung, Introspection of a Voice

8/29 土 19:00 [開場18:30]
ブルーローズ
19:00 Saturday, August 29
at Blue Rose

K.シュトックハウゼン (1928-2007) シュティムング (1968) パリ版

Karlheinz Stockhausen: Stimmung Pariser Version

上演時間:約70分 (休憩なし)
Performance duration: about 70 minutes

声の細分化・・・そして素材の拡大。
シュトックハウゼンが幸福な時代に生み出した声の作品。



1970年3月14日大阪万博
© Archive of the Stockhausen Foundation for Music, Kürten



K. シュトックハウゼン
©Rolando Paolo Guerzoni



ユーリア・ミハーイ
©Ela Mergels



工藤あかね
©石塚潤一



太田真紀
©Slot photographic



金沢青児



山根信明



松平 敬
©石塚潤一

音楽監督＝ユーリア・ミハーイ
Music Director: Julia Mihály

ソプラノ＝工藤あかね、ユーリア・ミハーイ
Soprano: Akane Kudo, Julia Mihály

アルト＝太田真紀
Alto: Maki Ota

テノール＝金沢青児、山根信明
Tenor: Seiji Kanazawa, Nobuaki Yamamasu

バス＝松平 敬
Bass: Takashi Matsudaira

音響＝有馬純寿
Sound Projectionist: Sumihisa Arima

○入場料 [自由席]
一般 3,000円/学生 1,000円

※本公演は座席配置が通常の仕様とは異なります。

大野和士指揮
日本初演!

日本では
大阪万博以来
45年ぶりの再演!

テーマ作曲家〈ハインツ・ホリガー〉

Suntory Hall International Program for Music Composition No. 38, Artistic Director: Toshio Hosokawa
Theme Composer <Heinz Holliger>

「サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ」は、コンサート・ホールが、鑑賞の場に止まらず創造空間となることを目指して、1986年故武満徹の提唱により始まりました。世界の第一線で活躍する作曲家へ管弦楽作品を委嘱し、世界初演を行います。



©Priska Ketterer

ハインツ・ホリガー

オーボエ奏者、指揮者、作曲家。ミュンヘン国際オーボエコンクール優勝後、5大陸で演奏し始めた無比の国際キャリアの持ち主。また、指揮者としても長年ベルリン・フィル、ウィーン・フィルなどの世界の主要オーケストラや室内楽団と共演。作曲家としても評価が高く、2012年、ザルツブルク音楽祭レジデント・アーティストとして作曲家、オーボエ奏者、指揮者として活躍。日本でも近年、指揮者として水戸室内管ほかと共演、オーボエ奏者としても室内楽、リサイタルを行い、絶賛を博す。

8/27 木 19:00 [開場18:20]
大ホール
19:00 Thursday, August 27
at Main Hall

管弦楽 Orchestral Works

クロード・ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲
(1862-1918) (1892-94)

Claude Debussy: Prélude à "L'après-midi d'un faune"

グザビエ・ダイエ(1972-) : ル・タン・アントル・ドウ・ミニユイ
Xavier Dayer: Le temps entre deux minuits, Japanese Premiere (2012) 日本初演

ハインツ・ホリガー(1939-) : レチカント** (2001) 日本初演

Heinz Holliger: Recicanto for Viola and Small Orchestra, Japanese Premiere

サントリーホール委嘱

ハインツ・ホリガー: 新曲* (2015) 世界初演

Heinz Holliger: New Work, World Premiere, Commissioned by Suntory Hall



サラ・ヴェゲナー
©Simon Wagner



ジュヌヴィエーヴ・シュトロッセ

指揮=ハインツ・ホリガー
Conductor: Heinz Holliger

ソプラノ=サラ・ヴェゲナー*
Soprano: Sarah Wegener

ヴィオラ=ジュヌヴィエーヴ・シュトロッセ**
Viola: Geneviève Strosser

管弦楽=東京交響楽団
Tokyo Symphony Orchestra

○入場料 [指定席]
S席 4,000円 / A席 3,000円
B席 2,000円 / 学生席 1,000円

8/22 土 16:00 [開場15:20]
ブルーローズ
16:00 Saturday, August 22
at Blue Rose

室内楽 Chamber Music

シャーンドル・ヴェレシュ(1907-1992) : ソナチナ(1931)
Sándor Veress: Sonatina

ハインツ・ホリガー : クインテット(1989)
Heinz Holliger: Quintet for Piano and Four Wind Players

デルフリッシュ・モティーヴェ 4つのバガテル
Dörfliche Motive 4 Bagatelles for Soprano and Piano (1960-61/2005)

トリオ(1966)

Trio for Oboe, Viola and Harp

トレーマ(1981)

Trema for Viola solo

インクレシヤントウム(2014)

Inceschantüm for Soprano and String Quartet

オーボエ & ピアノ = ハインツ・ホリガー
Oboe & Piano: Heinz Holliger

ソプラノ = サラ・ヴェゲナー
Soprano: Sarah Wegener

ヴィオラ = ジュヌヴィエーヴ・シュトロッセ
Viola: Geneviève Strosser

ピアノ = 野平一郎
Piano: Ichiro Nodaira

クラリネット = 菊地秀夫
Clarinet: Hideo Kikuchi

ファゴット = 福士マリ子
Bassoon: Mariko Fukushi

ホルン = 福川伸陽
Horn: Nobuaki Fukukawa

ハープ = 高野麗音
Harp: Reine Takano

クァルテット・エクセルシオ
Quartet Excelsior



野平一郎



菊地秀夫



福士マリ子



福川伸陽



高野麗音



クァルテット・エクセルシオ
©Naoko Ogura

○入場料 [自由席] 一般 3,000円 / 学生 1,000円

第25回 芥川作曲賞選考演奏会

The 25th Competition of Akutagawa Award for Music Composition



芥川作曲賞について

「芥川作曲賞」は、作曲家・芥川也寸志(1925-1989)の功績を記念して、1990年、(財)サントリー音楽財団(2009年公益財団法人サントリー芸術財団に移行)によって創設されました。国内外で初演されたわが国の作曲家の作品の中から、もっとも清新で、豊かな将来性を内包する作品に贈られるもので、わが国では初めての公開の選考会で選定し、決定いたします。受賞作曲家には賞金を贈るとともに、新しい作品の創作を委嘱し、完成後にその初演を行うという、複合的でユニークな賞です。

選考委員 池辺晋一郎 山根明季子 山本裕之
(50音順) Jury: Shin-ichiro Ikebe, Akiko Yamane, Hiroyuki Yamamoto

協力 = (一社)日本作曲家協議会
(一社)日本音楽著作権協会
日本現代音楽協会

8/30 日 15:00 [開場14:30]
大ホール
15:00 Sunday, August 30
at Main Hall

第23回芥川作曲賞受賞記念サントリー芸術財団委嘱作品

酒井健治: ヴァイオリン協奏曲「G線上で」* (2015) 世界初演

Kenji Sakai: Violin Concerto "On The G string" World Premiere, Commissioned by Suntory Foundation for Arts

第25回芥川作曲賞候補作品(50音順 / 曲順未定)

浅賀小夜子: チャルダッシュ形式による嬉遊曲(2012)**

Sayoko Asaga: A divertimento of the Csardas form
初演=2014年11月17日 東京音楽大学Jスタジオ
雑司ヶ谷楽友会第2回定期演奏会
指揮: 茂木宏文 ヴァイオリン: 迫田圭 雑司ヶ谷楽友会

辻田絢菜: コレクションイズム IV / ヴォールパーティンガー(2014)

Ayana Tsujita: Collectionism IV / Wolpertinger
初演=2014年10月30日 東京オペラシティ・コンサートホール
2014年第83回日本音楽コンクール本選会
指揮: 渡邊一正 東京フィルハーモニー交響楽団

坂東祐大: ダミエ & ミスマッチ J.H.S(2014)

Yuta Bandoh: Damier & Mismatch J.H.S
初演=2014年10月30日 東京オペラシティ・コンサートホール
2014年第83回日本音楽コンクール本選会
指揮: 渡邊一正 東京フィルハーモニー交響楽団

候補作品演奏の後、公開選考会(司会: 柿沼敏江)
Open jury meeting after the concert (MC: Toshie Kakinuma)

指揮=杉山洋一 Conductor: Yoichi Sugiyama
ヴァイオリン=成田達輝*、迫田圭** Violin: Tatsuki Narita, Kei Sakoda
管弦楽=新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

○入場料 [指定席] 一般 2,000円 / 学生 1,000円



©Philippe Stirnweiss

酒井健治 さかい けんじ

1977年大阪府生まれ。京都市立芸術大学を卒業後渡仏。フランス国立パリ高等音楽院、ジュネーヴ音楽院を最優秀の成績で卒業、IRCAM(フランス国立音楽音楽研究所)にて電子音楽を学ぶ。これまでに、ジョルジュ・エネスク国際コンクールグランプリ(2007)、武満徹作曲賞(2009)、エリザベト王妃国際音楽コンクール作曲部門グランプリ(2012)、文化庁長官表彰(2012)第23回芥川作曲賞(2013)等、次々に受賞。2012年マドリッド・フランスアカデミーの芸術部門の会員に選出され、マドリッドに1年間滞在。現在ベルリンに居住。

浅賀小夜子 あさが さよこ

1990年千葉県生まれ。2009年東京音楽大学作曲指揮専攻作曲(芸術音楽コース)に入学。2015年同大学大学院修士課程修了。これまでに作曲を糺場富美子、伊左治直、原田敬子の各氏に師事。

辻田絢菜 つじた あやな

1988年東京都生まれ。東京藝術大学作曲科を経て現在、同大学院に在学中。2013年 宅宅賞受賞。2014年第83回日本音楽コンクール入選、岩谷賞(聴衆賞)受賞。これまでに作曲を伊藤由紀、野田暉行、小鍛冶邦隆の各氏に師事。

坂東祐大 ばんどう ゆうた

1991年大阪府生まれ。東京藝術大学作曲科を首席で卒業。同大学院修士課程修了。2012年長谷川良夫賞、2013年アカンサス音楽賞受賞、2014年第83回日本音楽コンクール第3位。作曲を野田暉行、安良岡章夫、野平一郎、ピアノを中井正子の各氏に師事。



杉山洋一



成田達輝
©Hiroki Sugijura



TRANSMUSIC 特別公演

音楽のエッセンツィア “現代音楽の楽しみ方”

in
東京

TRANSMUSIC Special Concert “Eszencia” : How to enjoy playing & listening contemporary music

現代の作曲家とその音楽世界に、より深く関心を寄せていただくとともに、トークや演奏などを通じて新しい音楽作品への接し方をご提案する「TRANSMUSIC 音楽のエッセンツィア “現代音楽の楽しみ方”」を、2010年より毎秋、大阪で開催してきました。毎年1人の作曲家に、一般の音楽ファンも演奏可能な小曲（内包曲）を一部に含む曲を委嘱し、その楽譜をプレゼントするなどユニークな企画で、2013年公演の文化庁芸術祭賞音楽部門優秀賞受賞をはじめ、好評を博してまいりました。いままでに委嘱した5作品を、一挙にブルーローズでお楽しみいただきます。

今回も内包曲の楽譜をプレゼントいたしますので、お持ち帰りいただき、是非チャレンジください。

8/26

水

19:00 [開場18:00] ブルーローズ 19:00 Wednesday, August 26 at Blue Rose 全曲サントリー芸術財団委嘱作品
●18:30～プレコンサート 各作品の“内包曲”5曲を演奏します

西村 朗 (1953-) : <ヴィシュヌの臍> (2010)
～ピアノと室内オーケストラのための

Akira Nishimura: “THE NAVEL OF VISHNU” for Piano and Chamber Orchestra

ピアノ＝碓山典子
Piano: Noriko Ikariyama



西村 朗
©東京オペラシティ・撮影:大窪道治



碓山典子

中川俊郎 (1958-) : 室内交響曲第1番 (2011/15) 改訂初演

Toshio Nakagawa: Chamber Symphony No.1, Revised Version World Premiere



中川俊郎

伊左治 直 (1968-) : 南海の始まりへの旅 (2012/15) 改訂初演

Sunao Isaji: Viagem ao principio do mar sul, Revised Version World Premiere

ギター＝鈴木大介
Guitar: Daisuke Suzuki



伊左治 直



鈴木大介

野平一郎 (1953-) : 網目模様 (2013)

アルト・サクソフォンと室内管弦楽のための

Ichiro Nodaira: ENTRELACS pour saxophone alto et orchestre de chambre

サクソフォン＝井上麻子
Saxophone: Asako Inoue



野平一郎



井上麻子

三輪真弘 (1958-) : 万葉集の一節を主題とする変奏曲 (2014)

MIDIアコーディオンと管弦合奏のための

Masahiro Miwa: Variations on a Theme from the Ten Thousand Leaves

MIDIアコーディオン＝岡野勇仁
MIDI Accordion: Eugene Okano



三輪真弘



岡野勇仁

指揮＝野平一郎 Conductor: Ichiro Nodaira

東京シンフォニエッタ Tokyo Sinfonietta

●プレ・コンサート 18:30～

各作品の“内包曲”全5曲を演奏します

西村 朗: ピアノのための<花弁の中で> (2010)
Akira Nishimura: “IN THE PETALS” for Piano solo

中川俊郎: 主題と変奏 (2011) ※
Toshio Nakagawa: Theme and Variations

伊左治 直: 緑の舟 (2012)
Sunao Isaji: Barquinho Verde

野平一郎: (一人ぼっち) (2013)
Ichiro Nodaira: (Solitaire)

三輪真弘: 海ゆかば (2014)
MIDIキーボードとパソコンのための
Masahiro Miwa: Xu-mi-Xiu-ka-Ba

※ピアノ＝中川俊郎

本作品以外は、本公演プログラムの各ソリストが内包曲を演奏します。

楽譜
プレゼント

作品の「粋」= エッセンツィアに 直に触れる機会を 持って頂けるよう、ご来場の皆様に各内包曲の 楽譜をプレゼントいたします

○入場料 [自由席] 一般 3,000円 / 学生 1,000円

TICKET INFORMATION

長木誠司がひらく

CHOKI SEIJI ga HIRAKU

8/23(日) 18:00 レクイエム

〈大ホール〉 [指定席] S席6,000円/A席4,500円/B席3,000円/学生席1,000円
Reserved seat Adults Students

8/29(土) 19:00 シュティムング

〈ブルーローズ〉 [自由席] 一般 3,000円/学生 1,000円
Non reserved seat Adults Students

★セット券 ※東京コンサーツのみ取扱い

2公演セット券 [8/23(S席)、8/29] 7,000円(限定100セット)

★ Series Tickets Available at Tokyo Concerts, Inc. only (Tel:03-3226-9755)

2 concerts series [Aug. 23(S seat), Aug. 29] ¥7,000 *only 100 series sets

テーマ作曲家〈ハインツ・ホリガー〉

Theme Composer 〈Heinz Holliger〉

8/27(木) 19:00 管弦楽

〈大ホール〉 [指定席] S席4,000円/A席3,000円/B席2,000円/学生席1,000円
Reserved seat Adults Students

8/22(土) 16:00 室内楽

〈ブルーローズ〉 [自由席] 一般 3,000円/学生 1,000円
Non reserved seat Adults Students

★セット券 ※東京コンサーツのみ取扱い

2公演セット券 [8/27(S席)、8/22] 5,000円(限定100セット)

★ Series Tickets Available at Tokyo Concerts, Inc. only (Tel:03-3226-9755)

2 concerts series [Aug. 27(S seat), Aug.22] ¥5,000 *only 100 series sets

第25回芥川作曲賞選考演奏会

The 25th Competition of Akutagawa Award for Music Composition

8/30(日) 15:00 [指定席] 一般 2,000円/学生 1,000円

〈大ホール〉 Reserved seat Adults Students

TRANSMUSIC 特別公演

8/26(水) 19:00 [自由席] 一般 3,000円/学生 1,000円

〈ブルーローズ〉 Non reserved seat Adults Students

一般発売:5月13日(水)10時より

お問合せ・チケット取り扱い:東京コンサーツ 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp/>

チケット取り扱い:サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> [Pコード 258-471]

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/>

都響ガイド(8月23日公演のみ) 03-3822-0727 <http://www.tmsor.or.jp>

サントリーホール・メンバーズ・クラブ 先行受付:4月29日(水・祝)10時~5月11日(月)

メンバーズ入会お問合せ・チケットお申し込み:サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/> (先行期間中は窓口での販売はございません)

※学生席はサントリーホールチケットセンター(電話・WEB・窓口)のみ取り扱い。

25歳以下、来場時に学生証要提示、お一人様1枚限りです。

※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。

※出演者・曲目は予告なしに変更になる場合があります。

※Students tickets (Under the age of 25): Available only at Suntory Hall Ticket Center, student ID required

※You are kindly requested not to bring pre-school children to concerts.

※Musicians and programs are subject to change.

●詳細はウェブサイトをご覧ください。

サマーフェスティバル公式ホームページ <http://suntory.jp/summer/>



主催=サントリー芸術財団

協賛=サントリーホールディングス株式会社 助成= 芸術文化振興基金 制作協力=東京コンサーツ

Presented by Suntory Foundation for Arts

Supported by Suntory Holdings Limited / Subsidized by Japan Arts Fund / Coordinated by Tokyo Concerts, Inc.